

ま

や訓練風景

ヘリコプター 発艦・着艦

哨戒ヘリコプター（SH-60K）が「まや」へ着艦するまでの流れを紹介します。まず、無線により通信設定を行い、「風向風速・艦の揺れ、気圧」などをヘリコプターに通報します。

その後、艦長から着艦の許可を得て、ヘリコプターが着艦態勢に入ります。



発着艦管制官

最終的に、発着艦管制官および誘導員の指示に従って進入してきます。



誘導員



無事、飛行甲板に着艦することができました。



船が揺れてもヘリコプターが動かないよう、
飛行甲板に固定していきます。



固定完了！

これで着艦作業は終了です。

乗艦実習の支援

先日、横須賀教育隊の新入隊員が、護衛艦「まや」の乗艦実習にきました。今回は、今後戦力になってくれる新入隊員に対して、艦を説明する乗員の姿を通して、「まや」への理解を深めてもらいたいと思います。



主砲である「62口径5インチ砲MK45MOD4」の性能を説明していきます。この主砲は、米国が開発したMk45mod4を、日本がライセンス生産したものです。

また、画像右下が垂直発射装置です。多くの種類のミサイルを格納することができ、弾薬庫とランチャーを兼ねています。

新入隊員達も自分が希望する職種を決める参考にするため、熱心に聞いています。



艦上から見える横須賀港内についても説明します。

艦艇の性能だけでなく、艦内での訓練、生活、給料についても、漏れなくレクチャーしていきます。



医務室も紹介します。

准看護師の資格を保有している衛生員が常に待機しているので、長い航海でも安心して生活することができます。



こちらは、水上発射管です。短魚雷を発射するための装置で、中に短魚雷の実弾が装填されています。潜水艦に対する攻撃のために使用し、艦内から遠隔で操作することもできます。

乗員には当たり前の光景ですが、実弾が装填されていると聞くと、新隊員達は一様に驚きます。



操縦室も案内します。ここでは、艦を動かすための機関（エンジン）や発電機・ボイラーなどを制御・監視します。「まや」では、海上自衛隊で初の電気推進が使用されており、最新の機器を取り扱っています。



ここは、操艦（艦艇の操縦）を行う場所で、艦橋といえます。
見張り・海図・レーダーの情報をもとに、速力の変換を操縦室に指示し、
「まや」の操縦を行います。奥に見える黄色い椅子が群司令の席で、写
真には写っていませんが艦長の席は右側にあります。
（艦内で外を直接見ることは、艦橋だけです）



索をわがねて見栄え良く。
船乗りのしつけの一つです。



※ 写真・図・資料・その他の無断転載はご遠慮お願い致します。